

公益財団法人朝鮮奨学会2024年度大学・大学院奨学生の募集

2024. 4. 8

1 応募資格・・・以下のすべてに該当する者

- 1) 韓国人または朝鮮人で、在留資格が「留学」の私費外国人留学生
- 2) 2024年4月1日現在で学部学生（30才未満）、大学院正規課程（40才未満）である者。
また、いずれも、2024年4月1日現在で残在学期間が1年以上ある者。なお留年者は応募不可。
- 3) 採用された場合には、財団の諸行事に出席すること。
- 4) 成績について、学部1年生の場合は、高校3年次の評価値が5段階で原則3.2以上、学部2年生は修得総科目の成績評価値が原則として2.7以上であること。

* 継続応募者及び特別永住者は、財団へ直接応募してください。

2 支給額及び支給期間

学部 月額25,000円

博士課程前期 月額40,000円 博士課程後期 月額70,000円

支給期間 1年間（2024年4月～2025年3月）

3 応募の流れ「2024年度 奨学金応募の手引」参照

- ① 本学からの推薦が決定する
- ② 応募者自身が財団ホームページのインターネット専用受付ページのインターネット受付フォームに各基本情報を登録する。<http://www.korean-s-f.or.jp/02-07.htm>

4 応募書類

- 1) 願書（所定様式、A4用紙5枚組）
- 2) 研究計画書（所定様式、A4用紙2枚組、大学院生のみ提出）
- 3) 在学証明書（2024年4月1日以降発行のもの、コピー不可）
- 4) 学業成績証明書（学部以降直近のものまで、直近のものはコピー不可）
学部学生・・・現課程のもの（学部1年生は高校3年次のもの。調査書でも可）
大学院生・・・現課程のもの（MC1年生は学部のもの、DC1年生はMCのもの）＋前課程のもの
※ 別紙成績評価係数算出方法を参照の上、算出した値を鉛筆書きで記入すること。
※ 直近のものはコピー不可。
- 5) 在留カードの写し（両面）
- 6) 収入・所得証明書類（課税・非課税証明書）
- 7) 収入・所得を証明する書類（所得証明書等）
- 8) 私費外国人留学生身上調書（所定様式）
- 9) 家計状況申告書（所定様式）
- 10) 推薦書（所定様式、大学院生のみ提出）

4 推薦人数 学部生1名・大学院生3名

5 申請書類の提出先 教務課国際交流係

6 締切日 2024年4月25日（木）

2024年度に併給不可または本奨学金と同額以上である他奨学金に受給決定の者ならびに申請中の者（直接応募含む）は、選考対象外です。

総長特別奨学生で大学推薦された場合、博士後期課程の者を除き受給期間中（2024年前期～）の授業料免除申請はできません。

公益財団法人 朝鮮奨学会
2024年度 大学・大学院奨学生募集要項

1. 応募資格

■ 学部生

- ①日本の大学の学部(学士課程、専門職大学、短期大学も含む。通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。
- ②成績が優良で学費の支弁が困難な者。
- ③2024年4月1日現在、満30歳未満の者(継続応募者は除く)。

【成績について】

- ・学部1年生の学業成績は、高校3年次の成績評価値が5段階で原則 **3.2以上** であること。
- ・学部2年生以上の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則 **2.7以上** であること。
※本会評価値で算出(GPA評価ではありません)

【2023年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】

- ・学部在学中で学年が進級した者は継続生として応募できる。
- ・短期大学卒業後、4年制大学の3年生以上に編入した者は新規生として応募できる。
- ・2023年度に採用されたのち途中辞退した場合は新規生として応募できる。
- ・留年した者、学部を卒業して学士編入した者は応募できない。

【2023年度本会の大学(学部)奨学生でなかった場合】

- ・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって2023年度本会奨学生でなかった場合を含む)。2023年度本会の高校奨学生だった者も新規生として応募できる。
- ・高等専門学校(高専)の専攻科に進学した者は、新規生として応募できる。

■ 大学院生

- ①日本の大学院(博士課程・修士課程・専門職課程。通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。
- ②成績が優良で学費の支弁が困難な者。
- ③2024年4月1日現在、満40歳未満の者(継続応募者は除く)。
- ④法科大学院の未修コース、その他3年制修士課程においては2学年以上の者。
- ⑤日本学術振興会の特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムの受給者は応募できない。

【2023年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】

- ・進学して修士・専門職1年生になった者は新規生として応募できる。

【2023年度本会の大学院奨学生であった場合】

- ・同じ課程(博士・修士・専門職)で学年が進級した者は継続生として応募できる。
- ・修士・専門職課程から進学して博士1年生になった者は新規生として応募できる。
- ・5年一貫博士課程の2学年から3学年に進級した者は新規生として応募できる。
- ・博士課程(博士後期課程)において2年間受給した者は応募できない。
- ・2023年度に採用されたのち途中辞退した場合は、新規生として応募できる。

【2023年度本会の奨学生でなかった場合】

- ・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって2023年度本会奨学生でなかった場合を含む)。

■ 応募資格の留意事項

- ・休学している者は応募できない。
- ・研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。
- ・大学院において各課程の最短履修年限を超えて在籍している者は応募できない。
- ・過去に博士課程(博士後期課程)において2年間受給した者は応募できない。
- ・新規に応募する韓国人留学生(前年度奨学生ではない)は個人で直接応募できない。
「5. 応募書類と手続き」の「※2 留学生」を参照すること。
- ・本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。

2. 奨学金金額と募集人数

課程	奨学金金額	募集人数
学部生	月額 25,000円	770名
修士課程・専門職課程	月額 40,000円	110名
博士課程	月額 70,000円	

※本会奨学金は給付制であり返還の義務はない。給付期間は1年間(4月～翌年3月まで)。

3. 募集期間

継続生 2024年4月5日(金) 10:00～4月25日(木) 17:00

新規生 2024年4月10日(水) 10:00～5月10日(金) 17:00

4. 応募方法

募集期間中に、本会ホームページからインターネット受付専用ページにアクセスし、願書及び該当する全ての書類をそろえて申請する。

5. 応募書類と手続き(本登録申請)

- ・本会ホームページからインターネット受付専用ページにアクセスする。

必要書類	手順	学部生	大学院生	手続き
①WEB 願書 証明写真	1	●	●	インターネットの専用フォームに入力
②在学証明書				インターネットの専用フォームで画像をアップロード
③学業成績証明書				
④国籍・在留資格を証明する書類				
⑤所得証明書類				
⑥研究計画書 ⑦推薦書	2	×		指定クラウドへのアップロード

- ・学部生は「手順1」で手続きが完了し、「手順1・完了メール」が届く。
※上記のメールが24時間以内に届かない場合は本会に電話連絡すること。
- ・大学院生は「手順1・完了メール」に記載されている「手順2(⑥研究計画書・⑦推薦書)」の手続きを完了すること。

※1 特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)

- ・個人で直接応募できる。

※2 留学生

- ・継続生として応募する者は個人で直接応募できる。
- ・新規生として応募する者は個人で直接応募できない。

*大学の奨学金担当部署を通じて応募すること。

*大学ごとに募集方法が異なるので、大学の担当部署に問い合わせること。

*ただし、2023年度本会の大学・大学院奨学生であった場合は個人で応募できる。

■ 応募手続き・書類作成に関する留意事項

- ・入力と必要書類については「奨学金応募の手引き」（別紙）をよく読むこと。

■ 応募完了後の留意事項

- ・応募完了後に住所変更などが生じた場合は、必ず「応募登録内容 訂正・変更届」を提出すること（「応募の手引き」参照）。

■ 提出書類についての留意事項

- ・「課税・非課税証明」の数字を書き換えた文書・データを作成することは、「公文書偽造罪」もしくは「電磁的記録不正作出」に該当する可能性があります。
- ・「在学証明書」「学業成績証明書」等の偽造・変造についても「公文書偽造罪」「私文書偽造罪」もしくは「電磁的記録不正作出」に該当する可能性があります。

6. 選考と結果

- ・学部生の選考は書類審査で行う。
- ・大学院生は関東・近畿圏で必要により面接審査を行う。面接を行う場合は別途通知する。
- ・選考結果は、継続応募者は6月中旬、新規応募者は7月中旬までに応募者本人および各大学宛にメールまたは書面で通知する。選考結果についての問い合わせには応じない。

7. その他

- ・採用された学生は本会の諸行事に出席しなければならない(対象地域の者)。
また、学業・生活状況等について報告するレポートを年に2回提出しなければならない。
- ・《個人情報の取り扱いに関して》応募書類によって得た個人情報は、選考および応募者本人との連絡以外の目的には使用しない。ただし奨学金の併給を確認する目的に限り、他の奨学団体に姓名・生年月日等を開示することがある。
- ・受理した応募書類等は返却しない。本会の規定に基づき処分する。

事務所所在地・連絡先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビルディング 9階
電話 03-3343-5757（電話対応時間 平日午前9時～午後5時）
※応募者本人並びに学校関係者の問い合わせにのみ対応いたします。

ホームページ <http://www.korean-s-f.or.jp>

公益財団法人 朝鮮奨学会について

○本会の歩みと現在

朝鮮奨学会は日本で勉学している同胞学生を支援するための奨学育英機関で、120余年の歴史があります。

1943年、日本政府から公益事業をする「財団法人朝鮮奨学会」としての認可を得ました。

歴史の流れとともに幾多の変遷がありましたが、1957年に所属団体や思想・信条の違いなどを超越し、在日同胞が一致団結して理事会を再建しました。その後、日本の学識経験者とともに理事会・評議員会を構成して今日まで同胞学生のための育英事業を推進しています。

奨学会は現在、東京の新宿（本館）、代々木（別館）、大阪（関西奨学会館）にビルを所有し、これらの基本財産から得られる収益で、日本の高校・大学・大学院で学ぶ同胞学生に奨学金を給付するなどの事業を行っています。奨学会は日本政府からも本国の南・北の政府からも財政的援助を受けず、自主財源のもとに運営されています。

2012年7月31日、新公益法人制度のもと公益認定を取得し、同8月1日、「公益財団法人朝鮮奨学会」に移行しました。

○主な事業

朝鮮奨学会は、成績優良でありながら学費の支弁が困難な在日同胞学生と留学生に奨学金を給付しています。

大学・大学院の奨学生は1961年からの本格的な奨学金給付事業の再開以来、延べ約3万8千名、高校・高専の奨学生は1966年以降で延べ約5万2千名になり、その奨学事業費の総額は約174億円に達します。

奨学生を対象に講演会や国語講座、ウリマル発表会を行い、会報誌「セフルム」を通して民族の心と文化を育み、交流会や懇談会を開いて親睦をはかっています。また、大学院生の研究発表会を開催し、学術研究の奨励を行っています。

公益財団法人朝鮮奨学会定款
第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、日本の諸学校に在学する韓国人・朝鮮人学生等の奨学援護を行うとともに、学術奨励と研究助成を行い、もって有為な人材育成と国際交流に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 奨学金給付
- (2) 学生支援及び学術研究奨励
- (3) 会館の運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

奨学金給与規程

※公益財団法人移行に伴い、新しい定款に基づく「奨学金給与規程」を現在策定中です。

第1章 総 則

財団法人朝鮮奨学会寄附行為第4条に基づきこの規程を定める。

(奨学生の資格)

第1条 本会の奨学生となるものは、韓国人・朝鮮人であって、学校教育法第1条に規定する高等学校、大学（大学院を含む）に在学し、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

応募日	受付番号	昨年度番号	奨学生番号	応募種別

顔写真

2024年度
大学・大学院奨学生 願書

課程		最終出身校	
----	--	-------	--

基本情報

姓名		通称名	
姓名(カナ)		ハンブル	
性別		生年月日	
年齢		国籍	
在留資格		留学生学内選考	
留学生推薦番号		出生地 (国)	
出生地 (都道府県・都市名等)		渡日年月	
現住所			
自宅電話番号 ・緊急連絡先		携帯電話番号 (応募者本人)	
メールアドレス①			
メールアドレス②			
帰省先			
帰省先住所			

在学情報

学校所在地		国公立種別	
学校名		大学種別	
学校名(カナ)			
学部/研究科			
学科/専攻			
学部/研究科 分類番号			
研究テーマ (大学院生のみ)			
入学年月日		卒業・修了見込 年月日	
課程		学年	年

学歴

	年 月	学校名			
小学校					卒業
中学校					卒業
高校					卒業
大学(1)					入学
					卒業・卒業見込
大学・大学院(2)					入学
					卒業・卒業見込
大学・大学院(3)					入学
					卒業・卒業見込
その他の学歴					
最終出身校					
朝鮮学校 (日本所在)通学歴		韓国系学校 (日本所在)通学歴		本国の学校 (韓国所在)通学歴	

主な職歴

勤務先名等	
勤務期間	～
備考 (その他の職歴、ワーキングホリデー等)	

休学について

休学期間	～
備考 (休学理由など)	

学業成績と単位

成績評価値		取得単位数	単位
卒業・修了に必要な単位数	単位	履修時間/ 合格・認定単位数	時間/単位

研究業績(大学院生のみ)

既発表論文 (海外誌)	件	学会発表:海外 (口頭)	件	学会発表:国内 (口頭)	件
既発表論文 (国内誌)	件	学会発表:海外 (ポスター)	件	学会発表:国内 (ポスター)	件

父母及び家計支持者

家計支持者 1 (父)	姓名		年齢		才	居住形式	
	会社名等				職業		
	業種				年間収入	万円	
	備考						
家計支持者 2 (母または配偶者)	姓名		年齢		才	居住形式	
	会社名等				職業		
	業種				年間収入	万円	
	備考						
家計支持者 3	続柄						
	姓名		年齢		才	居住形式	
	会社名等				職業		
	業種				年間収入	万円	
	備考						

学費・経済状況等

授業料(年額)	万円	授業料減免		万円
通学状況		家族からの援助 (月額)		万円
住居の種類 (自宅外通学者)		家賃 (月額)		万円

本会以外の奨学金

国の給付型奨学金 (年額)	万円
------------------	----

受給の有無	奨学金名称	金額(月)	給与・貸与の別
受給決定		万円	
		万円	
応募中		万円	
		万円	

本会奨学金受給歴

高校		大学(学部)		修士・専門職		博士	
----	--	--------	--	--------	--	----	--

本会奨学金応募家族(今年度)

本会奨学金応募家族	
-----------	--

続柄	姓名	応募種別	学校種別・課程	学校名	学年

その他就学者

姓名	学校名	学年

就学者以外の家族

就学者以外の家族	
----------	--

その他世帯情報

就学者総数		家庭状況		家庭状況備考	
生活保護受給					

その他本人情報

母国語理解度	
部活・課外活動等	
技能・資格	
特技・趣味	

奨学金応募理由

Blank area for scholarship application reasons.

自己PR

Blank area for self-introduction (自己PR).

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2024年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館	
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館	
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町	
	国際交流会館東仙台会館			
	県・市営住宅・民間アパート(住所)	

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2024年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2023年4月から2024年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2023年10月入学の場合は2023年10月から2024年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

年	期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2024	前期					
	後期					
2023	前期					
	後期					
2022	後期					